

平成29年度

下水道民間研修 参加募集案内

(管理コース)



平成 29 年 5 月 22 日現在

地方共同法人 日本下水道事業団 研修センター

平成29年度 研修実施計画 【民間研修】

【民間研修】																				
コース	専攻名	官民区分	クラス	研修期間	研修回数	受講生	受講料(円)	CPD CPDS 認定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
共通	下水道入門 (日帰)	民	初	1	2	20	37,500	5.9単位				4								
	● 官民連携 (泊可)	民	特	1	1	10	37,500	6.3単位			14									
	■ 下水道経営入門 (日帰)	民	初	1	1	10	37,500							20						
	下水道国際水ビジネス・国際展開 (日帰)	官民	特	1	1	5	37,500										28			
設計	建築構造設計のチェックポイント (日帰)	民	特	1	1	20	37,500										22			
	コンサルタント研修技術者養成コース(土木) (泊可)	民	初	2	1	8	75,000											18-19		
	コンサルタント研修技術者養成コース(建築) (泊可)	民	初	2	1	4	75,000											18-19		
	コンサルタント研修技術者養成コース(機械) (泊可)	民	初	2	1	8	75,000												31-1	
	コンサルタント研修技術者養成コース(電気) (泊可)	民	初	2	1	4	75,000													31-1
施工	処理場施設(土木建築)の施工管理の実務 (泊可)	民	特	2	1	10	75,000							8-9						
	処理場施設(機械設備)の施工管理の実務1回目 (泊可)	民	特	2	1	15	75,000	15ユニット	26-27											
	処理場施設(機械設備)の施工管理の実務(大阪) (泊可)	民	特	2	1	15	75,000	15ユニット		11-12										
	処理場施設(電気設備)の施工管理の実務1回目 (泊可)	民	特	2	1	15	75,000	15ユニット			25-26									
	● JS品質確保研修(土木・建築) (泊可)	民	特	1	1	10	37,500											21		
	JS品質確保研修(機械・電気) (泊可)	民	特	1	2	20	37,500	7ユニット				11								27
管理	下水処理施設の包括的民間委託 (泊可)	民	中	2	1	15	75,000	13.0単位												1-2
	処理場管理Ⅱ (泊)	官民	中(備)	10	1	2	300,000	48.0単位										29	8	
	電気設備の保守管理 (泊)	官民	中	3	1	3	116,800	16.5単位												14-16
	水質管理Ⅰ (泊)	官民	初	10	1	3	300,000	54.5単位								11	20			
	水質管理Ⅱ (泊)	官民	中	5	1	2	187,500	33.5単位										6-10		
	水質管理Ⅲ (泊)	官民	特	5	1	2	187,500	33.5単位												5-9
	水処理施設の管理指標の活かし方 (泊)	官民	特	2	1	2	75,000	12.5単位			23-24									
	水質管理のトラブル対応 (泊)	官民	特	2	1	2	75,000	12.5単位			25-26									
計	25																			

注) 1. クラス欄の初・中・特は、初級クラス・中級クラス・特別クラスを示します。
 2. 官民のコースは、地方公共団体職員及び民間事業者を対象としたコースです。民のコースは、民間事業者だけを対象としたコースです。
 3. 各専攻とも申込者が定員を大きく下回る場合には、開催しない場合がありますので予めご了承下さい。
 4. (泊)のコースは、全寮制研修ですので、受講料の他に宿泊費として1泊あたり4,400円(消費税込)が必要になります。
 (泊可)及び(日帰)のコースについては、希望により研修センター施設への宿泊が可能です。
 5. 各専攻の詳細は、当事業団ホームページでもご確認いただけます。

● は、新設講座
 ■ は、リニューアル講座

応募上のご注意：研修を申し込まれる前に必ずお読み下さい。

1. お申込みをいただいた後、研修参加者が変更となる場合又は研修参加を辞退される場合には、「変更・辞退届」により、当研修センターに届け出てください。

なお、研修開講日の受付時間を過ぎてからの変更・辞退は、原則認めません。この場合、研修受講料は全額負担いただきます(テキスト・資料は提供します)。

2. 病気、忌引き等により授業を欠席する場合は、「欠席願」(当研修センター備付用紙)を提出していただきます。なお、研修修了の認定は、75%以上の授業に出席されることが前提条件となります。したがって、上記条件に達しない場合は、修了証書は交付いたしません。

また、欠席の期間についても、研修受講料は負担いただきます。

3. 応募者が概ね10名に満たない場合は、実施を中止することがあります。この場合に発生する切符のキャンセル料等応募者及び派遣団体が被る経済的損失については、当研修センターでは責任を負いかねますのでご了承下さい。

4. 事故や盗難トラブルを防止する観点から、当研修センターへ車両(自動車・バイク・自転車)でお越しいただくことは、お断りいたします。また、近隣には有料駐車場が無いため、駐車場の斡旋は行っておりません。

5. ウィルス性感染症等を発症され、他の研修生への感染等防止の観点からやむを得ないと当研修センターが判断した場合には、退寮していただく場合があります。

また、これらに該当する研修生の参加をお断りする場合があります。

※ 研修申込書など、必要な様式は、当事業団のホームページからダウンロードできます。

下水道の維持管理技術者に役立つ 下水処理施設の包括的民間委託 ～実施例と技術提案書作成のポイント～

1. 研修対象者 包括的民間委託に関心のある維持管理業者のマネジメント担当技術者
2. 研修目標 包括的民間委託制度や新たに求められる総合的マネジメント知識を習得し理解することにより、下水処理施設の維持管理に関する管理技術能力の向上に役立てられる。
3. 研修内容 包括的民間委託の受注者に求められる管理者として必要な知識を習得するため、事例解説、危機管理対策、総合的マネジメント技術等の講義及び演習を行う。
4. 実施時期 **平成30年2月1日(木)～2月2日(金)**
5. 実施期間 2日間
6. 実施場所 日本下水道事業団 研修センター
埼玉県戸田市下笹目5141
7. 受講料 **75,000円**
費用につきましては、全て銀行振り込みとなります。(決定通知に請求書を同封)
8. 申込み期限 **平成 29 年 12 月 22 日 (金)**
※申込期限を過ぎた場合でも、定員に空きがあれば受講いただけます。まずは、下記あて先までご相談ください。
9. 修了書 修了者には、「修了書」と土木学会継続教育プログラム(CPD)受講証明書を交付します。

【 留意事項 】

遠方の方は、当研修センターに宿泊が可能です。その際には、受講料のほかに、宿泊費及び食費(3食)として1泊当たり4,400円(消費税込)が必要となります。なお、研修前日からの宿泊及び後泊も可能です。

10. カリキュラム(予定)

研修日	講義時間	教 科 名	内 容
1 日 目	10:00 ～ 10:30	開講式・オリエンテーション	
	10:40 ～ 12:30	包括的民間委託事例研究(1)	発注者から見た包括的民間委託の現状と課題について、導入の実例を紹介しながら、提案書の評価に焦点をあてて解説
	13:30 ～ 15:30	包括的民間委託事例研究(2)	発注者から見た包括的民間委託の現状と課題について、導入の実例を紹介しながら、業務監視・評価に焦点をあてて解説
	15:40 ～ 17:30	危機管理対策	リスクマネジメント手法について解説し保険対応となるリスクと保険の概要について解説
2 日 目	9:30 ～ 12:30	総合的マネジメント技術	技術提案書作成における留意事項と業務管理の詳細について解説
	13:30 ～ 17:20	総合的マネジメント演習	技術提案書作成のポイントについて解説し、演習を行う
	17:20 ～ 17:30	修了式	修了書

11. 申し込み・問い合わせ先

参加申込書及び調査書を下記あて郵送又はFAXしてください。研修申込み書は当事業団ホームページからもダウンロードできます(<http://www.jswa.go.jp/>)。

(宛先) 〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141
日本下水道事業団 研修センター 研修企画課
TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

※応募上のご注意もご覧ください。

【国土交通大臣・環境大臣指定講習】【官民合同研修】

処理場管理Ⅱ

—土木学会継続教育「CPD」プログラム認定講座—

1. 研修対象者 下水道の維持管理業務において、5年以上の実務経験を有する方又は同程度の技術を有する方で、公務員および民間事業者を対象とする。
2. 研修目標 下水道法第22条に定める処理場及びポンプ場の維持管理資格者として業務に従事することができる。(本研修修了者は、下水道法に定める維持管理業務の資格取得に必要な実務経験年数が短縮される特例が認められています。)
3. 研修内容 維持管理資格者に求められる法的知識や技術知識を習得するため、維持管理関連法規の解説、水質管理等の基礎理論及びトラブル対応等応用理論について学習した後、水質実習や事例に基づいたディスカッションを行う。さらに研修目標の達成度を判定するため効果測定を実施する。
注1)研修の最後に第3種技術検定相当の効果測定を行います。
注2)下水道処理施設管理技士となるには、別途第3種下水道技術検定を合格することが必要です。(「下水道処理施設維持管理業者登録規定」第3条(昭和62年7月9日建設省告示1348号)
4. 実施時期 **平成29年11月29日(水)～12月8日(金)**
5. 実施期間 10日間
6. 実施場所 日本下水道事業団 研修センター
埼玉県戸田市下笹目5141
7. 受講料 (民間企業の方)300,000 円/人
費用につきましては、全て銀行振り込みとなります。(決定通知に請求書を同封)
なお、キャリア形成促進助成金制度により、受講料及び研修期間中の賃金の一部助成を受けることが可能です。
詳細については都道府県労働局にお問い合わせ願います。
8. 申込み期限 **平成29年8月4日(金)**
※申込期限を過ぎた場合でも、定員に空きがあれば受講いただけます。まずは、下記あて先までご相談ください。
9. 修了書 本研修の修了者には、修了証と土木学会継続教育プログラム(CPD)受講証明書を交付いたします。

【留意事項】

①本講座の受講にあたっては、実務経験年数が5年以上であることが条件となります。研修受講要件を満たさない場合や実務経験等の証明に不備がある場合には、本研修の受講をお断りすることがありますのでご了承ください。

②本講座は、全寮制の研修です。

受講料のほかに、宿泊費及び食費(3食)として1泊当たり4,400円(消費税込)が必要となります。なお、研修前日からの宿泊及び後泊も可能です。

③本講座では、参考図書として『下水道維持管理指針(総論編 マネジメント編)・(実務編)』(日本下水道協会)を指定します。研修において参考とする図書です。職場にあればお持ちください。

10. 申し込み・問い合わせ先

参加申込書及び調査書を下記あて郵送してください(郵送のみの受付となります)。研修申込み書は当事業団ホームページからもダウンロードできます(<http://www.jswa.go.jp/>)。

(宛先) 〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141
 日本下水道事業団 研修センター 研修企画課
 TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

※応募上のご注意もご覧ください。

※【官民合同研修】とは、公務員及び民間事業者両者対象の研修です。
 宿泊の部屋割りは、公務員倫理規定の関係上、官民で分けさせていただきます。

※当研修の経費の一部は、地方公共団体からの補助金が充てられております。そのため受講料に差が設けられておりますがご了承ください。

11. カリキュラム(案)

研修日	曜日	教科名	講義時間	内容
1日目	水	開講式	0.5	開講式及びオリエンテーション
		教科内容の説明	0.5	研修教科内容の説明
		ディスカッション課題の事前検討	1	ディスカッション課題の内容発表と質疑
		事業場排水対策	2	事業場排水の下水道への影響とその対策について解説
		処理場等の実務関連法規	2	下水処理場等の維持管理関連法規及び環境関連法規の解説
2日目	木	水質管理	2.5	処理場における水質管理の実際と異常時対策
		汚泥管理	3	処理場における汚泥管理の実際と異常時対策
		電気設備の基礎と管理	1.5	受電設備、配電設備、計装設備等の電気設備の基礎と管理の基礎知識について解説
3日目	金	設備の管理と保全	2	処理場等の維持管理の現状と問題点及びその対策及び施設の保守保全の計画と運用について解説
		管きよの維持管理	1.5	下水管きよの維持管理の必要性とその対策
		水質トラブル対応	3.5	水質悪化原因の追求とその対策等の事例研究
6日目	月	設備トラブル対応	3.5	設備のトラブルを事例に基づいて、原因の追求とその対策の研究
		電気設備実習	3.5	電気回路及びシーケンス制御の基礎及び演習。
7日目	火	水質分析とデータ解析	7	実下水、活性汚泥の分析とデータ解析
8日目	水	ポンプ実習	7	ポンプ性能曲線の作成とその評価の仕方及び分解組立て実習
9日目	木	処理施設運用事例の研究	3.5	処理場管理運営の実例を研究する
		施設研修	3.5	実処理場の管理運営の実態について学習
10日目	金	ディスカッション	3.5	研修生から提起された処理場管理に関する疑問点、問題点について討議
		効果測定	1.5	研修効果を測定するテスト
		修了式	0.5	

国土交通大臣・環境大臣指定講習とは？

指定講習＝「下水道法」第22条は、下水道施設の設計、工事監督管理及び維持管理を行う場合は、政令で定める資格を有する者以外の者に行わせてはならない旨定めています。これに基づき、維持管理を行う者の資格として「下水道法施行令」第15条の3及び「下水処理開始の公示事項等に関する省令」第2条の2とこれに基づく国土交通省・環境省告示により、日本下水道事業団の研修が指定されています。

【官民合同研修】
電気設備の保守管理
—土木学会継続教育「CPD」プログラム認定講座—

1. 研修対象者 処理場の維持管理担当職員で電気設備の管理に関する専門の知識・技術の習得を希望する人
2. 研修目標 処理場・ポンプ場の電気設備技術について専門の知識・技術が習得できる
3. 研修内容
 - ・設備管理のポイントについて力を入れています。
 - ・電気は処理場を動かすための、まさに原動力です。電気職以外の方には難しいといわれる電気設備の管理の仕方が講義、実習を通じて身近なものになります。
4. 実施時期 **平成30年2月14日(水)～2月16日(金)**
5. 実施期間 3日間
6. 実施場所 日本下水道事業団 研修センター
埼玉県戸田市下笹目5141
7. 受講料 (民間企業の方)116,800 円/人
費用につきましては、全て銀行振り込みとなります。(決定通知に請求書を同封)
8. 申込み期限 **平成29年8月4日(金)**
※申込期限を過ぎた場合でも、定員に空きがあれば受講いただけます。まずは、下記あて先までご相談ください。
9. 修了書 本研修の修了者には、修了証と土木学会継続教育プログラム(CPD)受講証明書を交付いたします。

【留意事項】

本講座は、全寮制の研修です。

受講料のほかに、宿泊費及び食費(3食)として1泊当たり4,400円(消費税込)が必要となります。なお、研修前日からの宿泊及び後泊も可能です。

10. カリキュラム(案)

研修日	曜日	時間	教科名	内容
1日目	水	0.5	開講式、教科内容の説明	開講式及びオリエンテーション、教科内容の説明
		2	電気設備の管理	省エネ、電気設備の点検周期や方法、測定項目、修繕、記録等
		3.5	計装制御設備の保守管理	監視制御設備と計装設備の解説と保守管理
2日目	木	7	電気設備の保護継電器試験実習	過電流継電器・不足電圧継電器及び地絡方向継電器の試験実習と解説
3日目	金	3.5	設備保守点検の委託	処理場設備保守点検委託の概要と事例解説
		0.5	修了式	

11. 申し込み・問い合わせ先

参加申込書及び調査書を下記あて郵送してください(郵送のみの受付となります)。研修申込み書は当事業団ホームページからもダウンロードできます(<http://www.jswa.go.jp/>)。

(宛先) 〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141
日本下水道事業団 研修センター 研修企画課
TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

※応募上のご注意もご覧ください。

※【官民合同研修】とは、公務員及び民間事業者両者対象の研修です。

宿泊の部屋割りは、公務員倫理規定の関係上、官民で分けさせていただきます。

【官民合同研修】
水質管理 I ～水質分析と運転管理～
 ～土木学会継続教育「CPD」プログラム認定講座～

1. 研修対象者 処理場の水質管理に従事する予定の人または経験の浅い人
処理場設備の保守管理に従事している人
2. 研修目標 処理場の維持管理に必要な水質分析及び水質管理ができる
3. 研修内容
 - ・処理場の維持管理を委託する場合に必要な知識等についても解説を行います。
 - ・水質・汚泥等の分析手法は勿論、下水処理に必要不可欠な分析結果の使い方 演習を通して解説します。
 - ・実習、演習を通じて、水質データに対するイメージがより一層具体化します。近年では水質担当以外の方の受講も増えております。水質担当のみならず、機械設備、電気設備担当の方も受講ください。
4. 実施時期 **平成29年10月11日(水)～10月20日(金)**
5. 実施期間 10日間
6. 実施場所 日本下水道事業団 研修センター
埼玉県戸田市下笹目5141
7. 受講料 (民間企業の方)300,000 円/人
費用につきましては、全て銀行振り込みとなります。(決定通知に請求書を同封)
なお、キャリア形成促進助成金制度により、受講料及び研修期間中の賃金の一部助成を受けることが可能です。
詳細については都道府県労働局にお問い合わせ願います。
8. 申込み期限 **平成29年8月4日(金)**
※申込期限を過ぎた場合でも、定員に空きがあれば受講いただけます。まずは、下記まで先までご相談ください。
9. 修了書 本研修の修了者には、修了証と土木学会継続教育プログラム(CPD)受講証明書を交付いたします。

【 留意事項 】

①本講座は、全寮制の研修です。

受講料のほか、宿泊費及び食費(3食)として1泊当たり4,400円(消費税込)が必要となります。なお、研修前日からの宿泊及び後泊も可能です。

②本講座では、参考図書として『下水道維持管理指針(総論編 マネジメント編)・(実務編)』と『下水試験方法(上巻・下巻)』(日本下水道協会)を指定します。研修において参考とする図書です。職場にあればお持ちください。

10. カリキュラム(案)

研修日	曜日	時間	教科名	内 容
1日目	水	0.5	開講式	開講式及びオリエンテーション
		0.5	教科内容の説明	研修教科内容の説明
		5	水処理・汚泥処理の基礎と理論	浄化原理及び水質用語、水面積負荷等の基礎とその理論、また、汚泥処理の原理及びTS、VTS、固形物負荷等の基礎とその理論について解説
2日目	木	7	水質実習(1)	汚泥管理に必要な活性汚泥、一般汚泥の分析と運転管理との関連について解説
3日目	金	7		一般項目(BOD、COD、pH、SS、透視度)の分析とデータの読み方、運転管理への活かし方について解説
6日目	月	7	水質実習(2)	窒素、リンの分析の試薬準備と各態リンの分析並びにBOD(5日目)の分析とデータの読み方、運転管理への活かし方について解説
7日目	火	7		各態窒素の分析とデータの読み方、運転管理への活かし方について解説すると共に、二日間の総括
8日目	水	7	水質実習(3)	重金属分析の前処理、大腸菌群数培地の調整並びに培養開始
9日目	木	7		重金属の濃度測定と大腸菌群の計数、ならびに結果の読み方について解説
10日目	金	6.5	水質管理演習	実習で得られた結果を用い、固形物収支、余剰汚泥引き抜き量等を算出する、水質管理の演習を行うとともに、水処理機能異常時の対応について解説
		0.5	修了式	

11. 申し込み・問い合わせ先

参加申込書及び調査書を下記まで郵送してください(郵送のみの受付となります)。研修申込み書は当事業団ホームページからもダウンロードできます(<http://www.jswa.go.jp/>)。

(宛先) 〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141
 日本下水道事業団 研修センター 研修企画課
 TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

※応募上のご注意もご覧ください。

※【官民合同研修】とは、公務員及び民間事業者両者対象の研修です。

宿泊の部屋割り、公務員倫理規定の関係上、官民で分けさせていただきます。

【官民合同研修】
水質管理Ⅱ～高度処理施設の水質管理～
 ～土木学会継続教育「CPD」プログラム認定講座～

1. 研修対象者 処理場の水質管理に関する専門の知識・技術の習得を希望する人
2. 研修目標 高度処理を中心として処理場の水質管理を充実させるとともに、水質管理上発生する諸問題について、理論的考察に基づき原因を究明して適切な対策処置をとることができる
3. 研修内容
 - ・水質管理Ⅰ同等レベルの知識を前提とし、講義、実習、演習を通じて高度処理、多段ステップ法等さらなる専門知識を得られる内容としています。
 - ・効率の良い水処理、柔軟な水処理管理についても理論的に解説します。
4. 実施時期 **平成28年11月6日(月)～11月10日(金)**
5. 実施期間 5日間
6. 実施場所 日本下水道事業団 研修センター
埼玉県戸田市下笹目5141
7. 受講料 **(民間企業の方)187,500 円/人**
 費用につきましては、全て銀行振り込みとなります。(決定通知に請求書を同封)
 なお、キャリア形成促進助成金制度により、受講料及び研修期間中の賃金の一部助成を受けることが可能です。
 詳細については都道府県労働局にお問い合わせ願います。
8. 申込み期限 **平成29年8月4日(金)**
※申込期限を過ぎた場合でも、定員に空きがあれば受講いただけます。まずは、下記あて先までご相談ください。
9. 修了書 本研修の修了者には、修了証と土木学会継続教育プログラム(CPD)受講証明書を交付いたします。

【留意事項】

①本講座は、全寮制の研修です。

受講料のほかに、宿泊費及び食費(3食)として1泊当たり4,400円(消費税込)が必要となります。なお、研修前日からの宿泊及び後泊も可能です。

②本講座では、参考図書として『下水道維持管理指針(総論編 マネジメント編)・(実務編)』(日本下水道協会)を指定します。研修において参考とする図書です。職場にあればお持ちください。

10. カリキュラム(案)

研修日	曜日	時間	教科名	内 容
1日目	月	0.5	開講式、教科内容の説明	開講式及びオリエンテーション、教科内容の説明
		1.5	ディスカッション課題の事前検討	ディスカッションテーマの内容発表と質疑
		4	水質管理の理論	処理場における水質管理の実際と異常時の対策を理論的に解説
2日目	火	3.5	水質トラブルへの対応	水質悪化の原因とその対策について解説
		3.5	窒素、りん処理施設の運転管理	窒素、りん処理における水質管理、汚泥管理と管理事例
3日目	水	7	生物相からみた下水処理	生物の基礎、活性汚泥の浄化機能について解説、生物相の観察
4日目	木	7	処理施設運用事例	既存処理施設を効率的に運用している事例の解説
5日目	金	3.5	ディスカッション	研修生から提起された水質管理、汚泥管理の問題点について討議
		3	窒素、りん処理管理演習	窒素、りん処理施設運転管理の演習
		0.5	修了式	

11. 申し込み・問い合わせ先
 参加申込書及び調査書を下記あて郵送してください(郵送のみの受付となります)。研修申込み書は当事業団ホームページからもダウンロードできます(<http://www.jswa.go.jp/>)。

(宛先) 〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141
 日本下水道事業団 研修センター 研修企画課
 TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

※応募上のご注意もご覧ください。

※【官民合同研修】とは、公務員及び民間事業者両者対象の研修です。

宿泊の部屋割りは、公務員倫理規定の関係上、官民で分けさせていただきます。

【官民合同研修】 水質管理Ⅲ

—土木学会継続教育「CPD」プログラム認定講座—

1. 研修対象者 処理場の水処理、汚泥処理の管理に携わる人
2. 研修目標 水処理、汚泥処理のしくみを理解し、処理場の維持管理業務を深く知ることができる
水処理実験や汚泥脱水実習により実践的な水質管理技術が習得できる
3. 研修内容
 - ・水処理施設運転計画の作成の考え方が理解できます。
 - ・委託者および受託者が共通の水質管理技術をもつことは、処理場の適正な管理につながります。
4. 実施時期 **平成30年2月5日(月)～2月9日(金)**
5. 実施期間 5日間
6. 実施場所 日本下水道事業団 研修センター
埼玉県戸田市下笹目5141
7. 受講料 **(民間企業の方)187,500円/人**
費用につきましては、全て銀行振り込みとなります。(決定通知に請求書を同封)
なお、キャリア形成促進助成金制度により、受講料及び研修期間中の賃金の一部助成を受けることが可能です。
詳細については都道府県労働局にお問い合わせ願います。
8. 申込み期限 **平成29年8月4日(金)**
※申込期限を過ぎた場合でも、定員に空きがあれば受講いただけます。まずは、下記あて先までご相談ください。
9. 修了書 本研修の修了者には、修了証と土木学会継続教育プログラム(CPD)受講証明書を交付いたします。

【留意事項】

①本講座は、全寮制の研修です。

受講料のほかに、宿泊費及び食費(3食)として1泊当たり4,400円(消費税込)が必要となります。なお、研修前日からの宿泊及び後泊も可能です。

10. カリキュラム(案)

研修日	曜日	時間	教科名	内容
1日目	月	0.5	開講式、教科内容の説明	開講式及びオリエンテーションならびに研修教科内容の説明
		4	水質管理と管理指標	管理指標についての解説
		1.5	実習準備	実習について準備解説
2日目	火	7	水質実習と水処理実験	実下水、活性汚泥について、日常維持管理項目について分析するとともに、異なる条件を設定した水処理実験を行う
3日目	水	7	水質実習と水処理実験	
4日目	水	7	脱水実習	実汚泥を用いて調整等の条件を変えた汚泥脱水実習
5日目	金	6.5	水質管理演習～運転計画作成とグループ検討	実習結果を用いて運転計画の作成についてグループ検討及び演習を行う
		0.5	修了式	修了式

11. 申し込み・問い合わせ先

参加申込書及び調査書を下記あて郵送してください(郵送のみの受付となります)。研修申込み書は当事業団ホームページからもダウンロードできます(<http://www.jswa.go.jp/>)。

(宛先) 〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141
日本下水道事業団 研修センター 研修企画課
TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

※応募上のご注意もご覧ください。

※【官民合同研修】とは、公務員及び民間事業者両者対象の研修です。

宿泊の部屋割りは、公務員倫理規定の関係上、官民で分けさせていただきます。

【官民合同研修】
水処理施設の管理指標の活かし方
 —土木学会継続教育「CPD」プログラム認定講座—

1. 研修対象者 下水処理場において水処理、汚泥処理等の維持管理に携わる人
2. 研修目標 活性汚泥法の反応タンクの管理指標と活用方法が理解できる
汚泥返送比, MLSS, SRTなどが及ぼす水処理への効果が理解できる
3. 研修内容
 - ・水処理施設の管理指標データをベースにした運転管理の手法を分かりやすく解説いたします。
 - ・維持管理業務に携わられる方を対象に、機械設備、電気設備担当の方も受講ください。
4. 実施時期 **平成29年5月23日(火)～5月24日(水)**
5. 実施期間 2日間
6. 実施場所 日本下水道事業団 研修センター
埼玉県戸田市下笹目5141
7. 受講料 (民間企業の方)75,000 円/人
費用につきましては、全て銀行振り込みとなります。(決定通知に請求書を同封)
8. 申込み期限 **平成29年4月14日(金)**
※申込み期限を過ぎた場合でも、定員に空きがあれば受講いただけます。まずは、下記あて先までご相談ください。
9. 修了書 本研修の修了者には、修了証と土木学会継続教育プログラム(CPD)受講証明書を交付いたします。

【留意事項】

本講座は、全寮制の研修です。

受講料のほかに、宿泊費及び食費(3食)として1泊当たり4,400円(消費税込)が必要となります。なお、研修前日からの宿泊及び後泊も可能です。

10. カリキュラム(案)

研修日	曜日	時間	教科名	内容
1日目	木	0.5	開講式、教科内容の説明	開講式及びオリエンテーションならびに研修教科内容の説明
		2	活性汚泥法の浄化原理	活性汚泥法の浄化機能の理論解説
		3.5	管理指標詳解	反応タンクで用いる代表的な管理指標について解説
2日目	金	3.5	管理指標活用演習	汚泥返送比, MLSS, SRTなど各指標値の設定と水処理への効果予測の演習
		3	運転計画作成演習	研修のまとめとして、水処理、汚泥処理を総合した処理場運転計画を作成
		0.5	修了式	修了式

11. 申し込み・問い合わせ先
 参加申込書及び調査書を下記あて郵送してください(郵送のみの受付となります)。研修申込み書は当事業団ホームページからもダウンロードできます(<http://www.jswa.go.jp/>)。

(宛先) 〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141
 日本下水道事業団 研修センター 研修企画課
 TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

※応募上のご注意もご覧ください。

※【官民合同研修】とは、公務員及び民間事業者両者対象の研修です。

宿泊の部屋割りは、公務員倫理規定の関係上、官民で分けさせていただきます。

【官民合同研修】
水質管理のトラブル対応
 —土木学会継続教育「CPD」プログラム認定講座—

1. 研修対象者 下水処理場において水処理、汚泥処理等の維持管理に携わる人
2. 研修目標 活性汚泥法において発生する水処理及び汚泥処理トラブルについて理解できる
3. 研修内容 水処理・汚泥処理トラブルへの備えができ、トラブル対策の考え方が理解できる
 ・水処理施設、汚泥処理施設のトラブルシューティングの技法を分かりやすく解説いたします。
 ・維持管理業務に携わられる方を対象に、機械設備、電気設備担当の方も受講ください。
4. 実施時期 **平成29年5月25日(木)～5月26日(金)**
5. 実施期間 2日間
6. 実施場所 日本下水道事業団 研修センター
 埼玉県戸田市下笹目5141
7. 受講料 (民間企業の方)75,000 円/人
 費用につきましては、全て銀行振り込みとなります。(決定通知に請求書を同封)
8. 申込み期限 **平成29年4月14日(金)**
※申込期限を過ぎた場合でも、定員に空きがあれば受講いただけます。まずは、下記あて先までご相談ください。
9. 修了書 本研修の修了者には、修了証と土木学会継続教育プログラム(CPD)受講証明書を交付いたします。

【 留意事項 】

本講座は、全寮制の研修です。

受講料のほかに、宿泊費及び食費(3食)として1泊当たり4,400円(消費税込)が必要となります。なお、研修前日からの宿泊及び後泊も可能です。

10. カリキュラム(案)

研修日	曜日	時間	教科名	内 容
1日目	木	0.5	開講式、教科内容の説明	開講式及びオリエンテーションならびに研修教科内容の説明
		2	処理場設計諸元と水質管理	水質管理と処理場設計諸元の関係性、重要性について解説
		3.5	トラブルの発生原因と対策	下水処理におけるトラブルの発生原因と対策について解説
2日目	金	3.5	水処理トラブル	水処理のトラブルの事例と対策について解説
		3	汚泥処理トラブル	汚泥処理のトラブルの事例と対策について解説
		0.5	修了式	修了式

11. 申し込み・問い合わせ先
 参加申込書及び調査書を下記あて郵送してください(郵送のみの受付となります)。研修申込み書は当事業団ホームページからもダウンロードできます(<http://www.jswa.go.jp/>)。

(宛先) 〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141
 日本下水道事業団 研修センター 研修企画課
 TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

※応募上のご注意もご覧ください。

※【官民合同研修】とは、公務員及び民間事業者両者対象の研修です。

宿泊の部屋割りは、公務員倫理規定の関係上、官民で分けさせていただきます。

参加申込書

日本下水道事業団
研修センター所長 殿

下記の者を、研修生として推薦し、参加を申し込みます。

団 体 名

代 表 者 名

コース名	専攻名 (第 回)	研修期間	氏 名	備 考

(注) 本申込書には、指定の調査表(複数名申込みの場合はコピーし、一括して下さい)を添付して下さい。
なお、本申込書は、直接当研修センターに提出願います。

※参加申込書及び調査表に記入していただいた個人情報、以下の目的に使用します。

- ①研修に対する御照会及び御相談に対する回答及び資料送付
- ②参加申込いただいた研修の実施
- ③研修開催案内、各種業務案内に関する情報提供
- ④研修費を助成する各都道府県の市町村振興協会に研修の参加情報の提供

